

## 若者と語る「自立支援」

アイユーゴー理事 各務 宇春

### 若者と語る「自立支援」

8月2日(日)午後、京都にて、国際開発に関心を持つ10～20代7名とアイユーゴー理事7名が参加し、「貧困と開発」について討論を行いました。



アイユーゴーは2001年の創設以来、途上国の人とともに、途上国の人々の自立を支援するという立場を貫き、できる限りの様々なプロジェクトを実施してきましたが、設立10年を前に、「自立」とは何か、理想的な「自立支援」とは何かを、再確認をしようとの思いに達しました。私たちは、今後数年をかけて、私たちが取り組むべき「自立支援」を明らかにしていきたいと思えます。

### 次代を担う若者と共に考える。

今回は、「自立支援」について考える第一弾として、次の世代を担う若者(10代後半～20代前半)に集まいただきました。女性6名、男性1名。彼らの多くは、アイユーゴーの活動現場を訪問した経験があり、アイユーゴーの支援者でもあり、評価者でもあり、そして担い手でもある存在です。長年、プロジェクトに携わってきた者のみでアイユーゴーの活動を省みるのではなく、新しい視点でこれまでのプロジェクトの評価や今後を描く必要があると思っています。



当日は、参加者が2つのグループに分かれ、それぞれの経験から、開発の理想と課題、自立支援の在り方について意見が出されました。「ある国で見た開発の姿は、結果的には人々の自立を促さず、人々に幸せをもたらしていなかった」といったそれぞれの紹介から、「自立と判断すれば支援を撤退できるのだが、その判断が難しい」という悩みも披露されました。

### 「自立支援」とは何か。

「自立支援」とは何か。どのような支援が「自立」を促すのか。これは不断に考え続けなければなりません。ただ、私たちは今回参加いただいた若者を含め、多くの方々とは真摯に議論していきたいと考えています。ぜひ、ご意見をお寄せ下さい。



8月2日に開催された「若者と語る「自立支援」」。会終了後は、京都駅ビル内の居酒屋に会場を移し、若者とアイユーゴー理事との交流を重ねました。アイユーゴーは、今回集まってくれた7

名を中心に、アイユーゴーの活動を担う若手グループ、「アイユーゴー・ユースの会(仮称)」の立ち上げを検討してまいります。



アイユーゴーではタイ、ラオス、ベトナム、マダガスカル等にて、協力を必要としている人たちの自立支援を行っています。多くの人たちのご協力を必要としています。また、現地へのワークキャンプやスタディーツアーも企画しています。是非一度、ホームページをご覧ください。 : <http://aiyugo.fc2web.com>  
e-mail : [snittaskmj0715@yahoo.co.jp](mailto:snittaskmj0715@yahoo.co.jp)